

飛驒銘酒物語



創業した1870年から
の銘柄。渡辺久憲社長(52)
の高祖父の章が、仕込んだ
酒を振る舞い、うたげで謡
った謡曲「鶴亀」の一節
から名付けた。蓬菜とは、
中国の神仙思想で不老不
死の薬を持った仙人が住む
とされる山。渡辺社長は
「縁起のいい名前で、飲む
と長生きしそうだ」とほほ
笑む。

中でも売れ筋の「純米吟
醸家伝手造り」は、中国の
一般消費者が試飲し、好み
の日本酒を選ぶ品評会で2
018〜20年に金賞に輝
き、3年連続でプラチナカ

金の品に贈られるANA賞
を受賞した。この他、国内
外の数々のコンクールで評
価は高い。さらには全日本
空輸の国際線のファースト
クラスで採用されたり、各
国にある日本の大使館や領
事館から注文が入ったりす
るほど。

味はやや甘口で飲み飽き
ない。煮物といった和食を
はじめ、シチューやグラ
タン、和菓子、アップルパ
イなどにも合い、意外な
組み合わせが楽しめるとい

蓬菜 渡辺酒造店 (飛驒市)



創業時からの伝統銘柄

旅客機のファーマーも
採用される古
蓬菜=飛驒市
川町老之町、渡
辺酒造店

う。渡辺社長は味の広がりを感じられる冷やを薦める。

米や酵母は当主によって異なる。現在の方針では酒米(酒造好適米)の「ひ

だほまれ」に適した酵母を使い、新しい技術を取り入れながら造る。ラインアップもさまざまで、ストリー性のある商品開発とユニークな名前が売り。「絶えず進化し続ける未完の酒だ」と語る。

(河村有都)

※来月、この企画は第5土曜日に掲載します

